

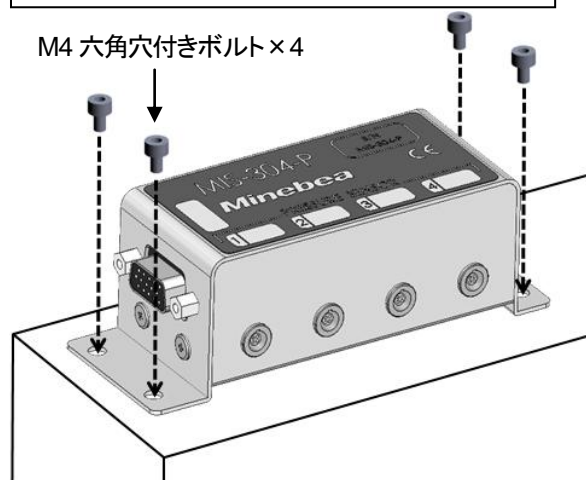
金型センシング統合システム 内圧中継ボックス MIS-304-P ボックスの固定方法について

システム全体の取り扱い方法については、金型センシング統合システム MIS-202 の取扱説明書(294-1906*)を参照ください。

中継ボックスの固定

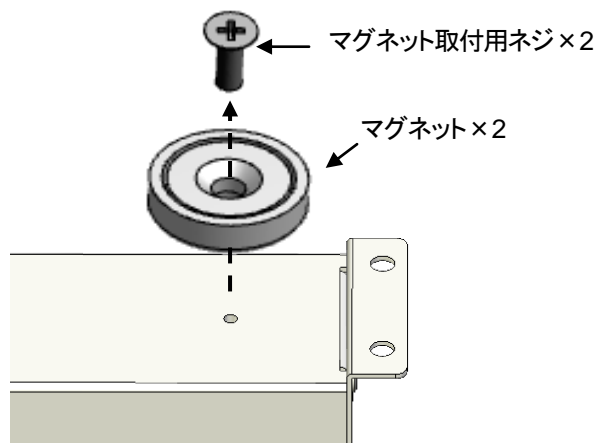
- 本器の固定方法は、マグネットによる吸着固定と、固定用穴によるボルト止め固定の 2 通りがあります。
- マグネット固定の場合、金型固定部の可動側(プラテン)に取付けてください。また、仕様温度 70 °C を超えない範囲で使用してください。
- 吸着力が不十分なきや周囲温度が 70°C を超える場所に取り付けるとき、金型へ取り付けるときは、ボルト固定を行ってください。

ボルトでの固定方式



M4 六角穴付きボルトによる固定を左右 2 箇所で行ってください。(取付け面に M4 タップ加工が必要となります。)

マグネットの取り外し方



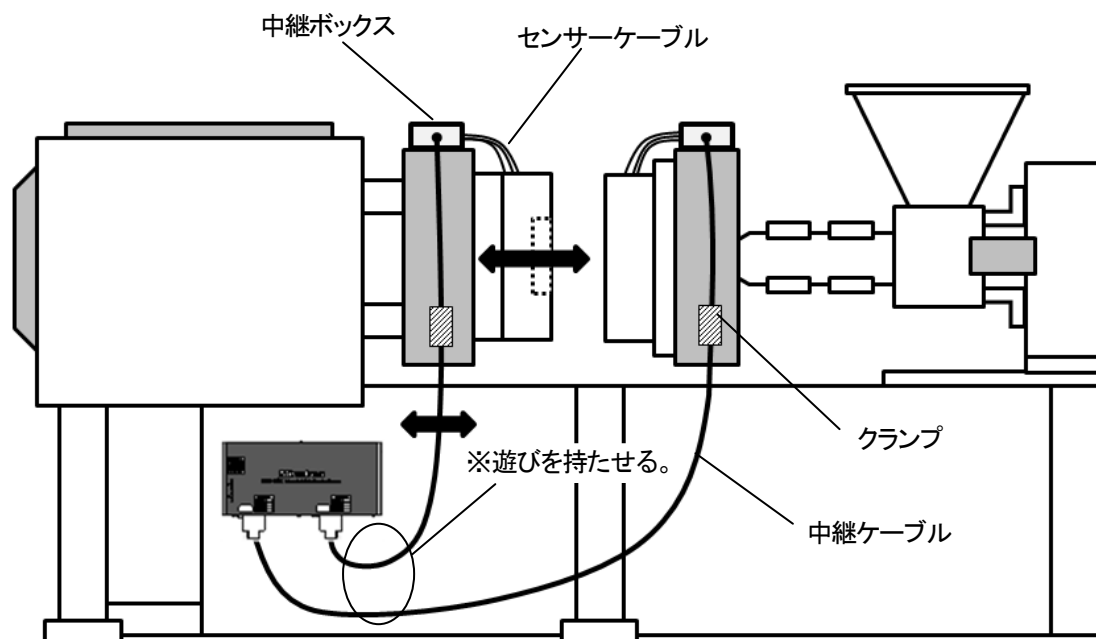
ボルト固定の場合は、必ずマグネットを取り外してから固定してください。マグネット中央にあるネジを外すことで取り外せます。

⚠ 取扱上の注意

- ボックスの周囲温度は、マグネット固定時は 0°C~70°C、ボルト固定時は 0°C~100°C 以内とってください。
- マグネットによる固定を行う場合は、吸着力の確認を行ってください。取付け面の条件により、保持力が不十分な場合や長期間使用する場合には、ボルト固定を実施してください。
- マグネットにクレジットカード・キャッシュカード等を近づけると使用できなくなる恐れがあります。また、パソコン・携帯機器等の精密機器に近づけると不具合の原因になる恐れがあります。
- ボルト固定でボックスを取り付ける場合は、必ずマグネットを取り外してからボルトで固定してください。ボックスと取付け面が接触しなくなり、安定した固定ができません。
- 金型へボックスを取り付けて使用する場合は、必ずボルト固定で使用してください。

成形機への設置(配線)

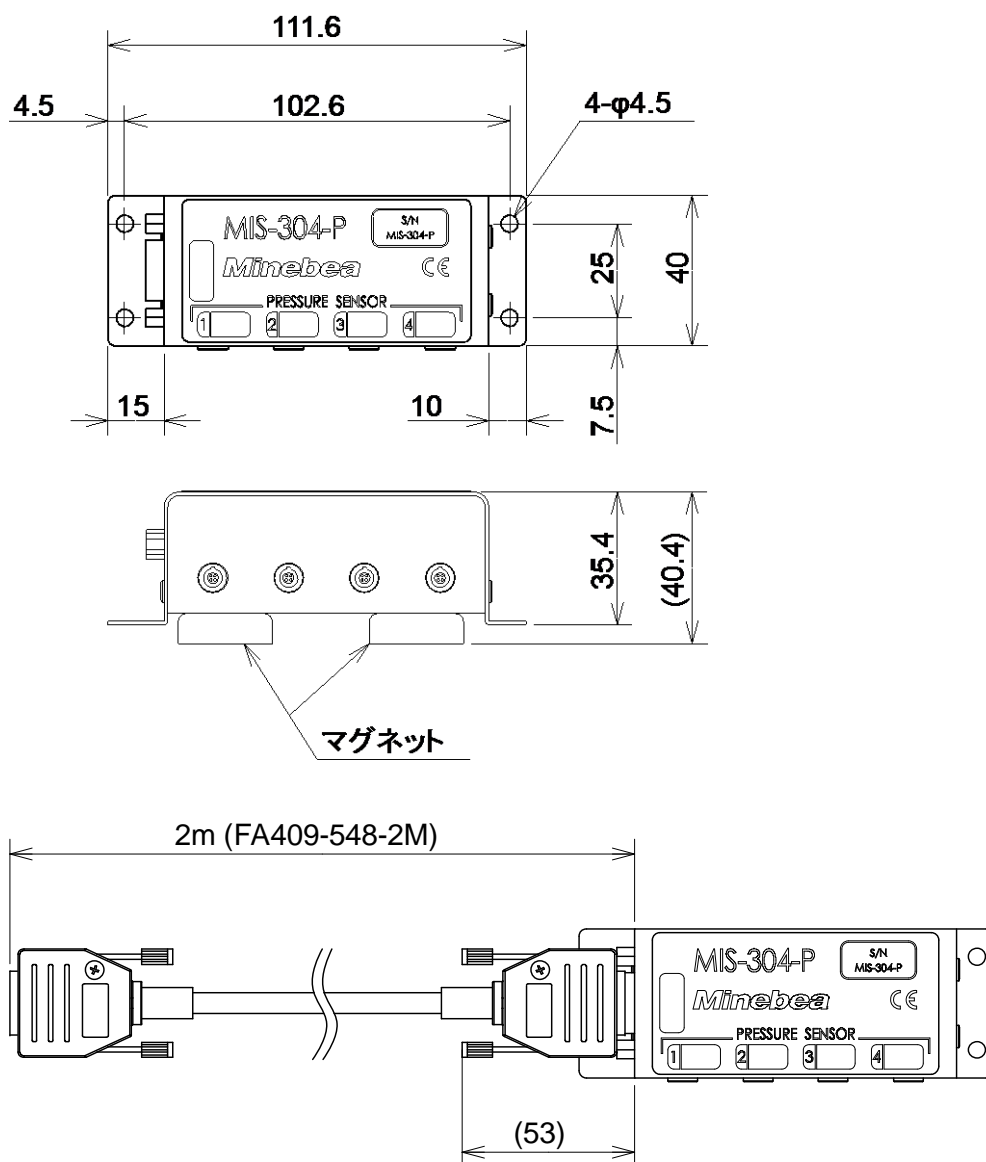
アンプと中継ボックスは、以下のレイアウトを例に、脱落や断線に注意して設置してください。中継ボックスは、センサーを接続するため、金型、またはプラテンの上側や横側に設置してください。アンプは作業者の手が届き、LED表示が見える、成形機の操作側に設置してください。



⚠ 取扱上の注意

- 金型が可動しても、中継ケーブルの根元に負荷が掛からないよう、ケーブルには十分な遊びを持たせ、可動部の近くでのケーブルクランプは行わないでください。
- 金型が可動しても、中継ケーブルに負荷が掛からないように長さに余裕をもって配置してください。
- 断線を防止するため、ケーブルの最小曲げ半径は、必ず以下の条件で使用してください。
 圧力用：固定部 50 mm 以上 可動部: 50 mm 以上
 温度用：固定部 70 mm 以上 可動部: 100 mm 以上
- 中継ボックスと中継ケーブルを接続するときは、D-sub コネクタの左右のスクリーネジを最後まで締めて接続してください。
- 中継ケーブルはロボットケーブルを使用していますが、度重なる屈曲により、断線する可能性がある消耗品です。使用頻度に応じて、一定期間での交換、または予備品の保有を推奨します。
- 中継ボックスをマグネットで固定する場合、中継ケーブルを中継ボックスから2m 以内の位置でクランプしてください。ケーブルの荷重により、中継ボックスが固定位置からずれる可能性があります。
- 金型可動時にセンサーケーブル、中継ケーブルが挟まれたり、引っ張られたりしないように各ケーブルを敷設してください。必要に応じ、余ったケーブルを結束するなどの処置を行ってください。

外形図



単位:mm

一般仕様

- 使用温度範囲 0 °C ~ 70 °C
0 °C ~ 100 °C (マグネット不使用時)
- 使用湿度範囲 85 %RH 以下 (結露なきこと)
- 保存温度範囲 -10 °C ~ 70 °C
-10 °C ~ 100 °C (マグネット不使用時)
- 耐振動 10 Hz ~ 55 Hz 複振幅 1.5 mm X,Y,Z 各方向 2 時間
- 外形寸法(W×H×D) 111.6 mm × 40 mm × 40.4 mm (突起部含まず)
- 質量 約 190 g (マグネット含む)
- ケース材質 SUS430
- 適用変換器 LSMS-S06 シリーズ (20K、50K、100K、200K、500K、1T、3T)
- 適用アンプ MIS-202-PT, MIS-202-PP